内容を聽取燃料國策案

・潮兩相が藤沼翰長を訪問

、十四、十五日の開催豫定も取止め が事削機計



(他の筈であつた國策閣議を取止め、國策審議の事前策として新に左の如き申合せをなした は無用であることを認め、十日の閣議に引續いて十三、十四、十五の三日間別 切き審議方針は無用であることを認め、十日の閣議に引續いて十三、十四、十五の三日間別 切ま審議に引行しても『重要國策とは如何」との根本方針に疑義を生じ、徒らに國策の審議なく、各別僚 (関策審議についての意見を徴した結果、馬塲歳相を初め寺内、永野雨軍部大臣も従來の に國策審議についての意見を徴した結果、馬塲歳相を初め寺内、永野雨軍部大臣も従來の はの第であつた國策とは如何」との根本方針に疑義を生じ、徒らに國策の審議なく、各別僚 (他の筈であつた國策閣議を取止め、國策審議の事前策として新に左の如き申合せをなした。 のとであつた國策閣議を取止め、國策審議の事前策として新に左の如き申合せをなした。 (他の筈であつた國策閣議を取止め、國策審議の事前策として新に左の如き申合せをなした。 (他の筈であつた國策閣議を取止め、國策審議の事前策として新に左の如き申合せをなした。 (世の筈であつた國策閣議を取止め、國策審議の事前策として新に左の如き申合せをなした。 (中の筈であつた國策とのは、中の官とのは、中の管理を関係の筈であつた。)

明智技 內積大臣 朔 亚乙酮 同 司法大臣 林 劉三郎 吾兵 (貴族院) 本山附有馬賴鄉 本川岡本之助《侯附天既经行 本川岡本之助《侯附天既经行 本川岡本之助《侯附天既经行 本川岡本之助《侯附天 张汉宋郎《武武帝《安阳祖永言》 《公元》(秦昭祖永言》(《公元》)

音柏 藏相の事前檢討に移されることになつたことな業に對きむてある(宮原上は首相下は聲利)下日の厭謗においては何等の風覚も上続されなかった、重要國策審議が當初の 閣議中心主義から方向轉

とする激素方針に近められた初、頭し乗り、腹に重要の強の強行に「内の形象を続くものと見られる、「の厩行は定動されてある」のようの単金で東止めることのようの関係が観が観光を開放しまっては長老して居るの形態が度悪され、「たかり、今後は首相、難月を中一歌楽に見する反言的が観光が観光を観している。これでは祖宮の形態が度想され、「たかり、今後国演報論に當つては長老して居宮の形態が度想され、「の原行は定動されてある」との不満を観している。 たものといはざるを得ない、政筋一今回の果は間内のみならず耐外に る大なる衝撃を興く、不遠を禁忌

兩調查會委員

すに至ったので、イギリス政府は「F(新振換算計二級三千萬国)に | 1、軍用機競遣費 (CO、COO

防度が認識は無器一級九千萬ギン

兵員五千名を地加五萬五十人

國防豫算總額は一億九千萬磅

無敵布軍と相俟つて國防の完璧を一、着陸迅速設践

一・機械化裝備費・カ・チでし

一、軍士司材工實際

総山府金管理所長無務を命ず 本班越信局副車務官 照則を定号配たらしめる緊急を示

に至ったので、十日の部議に附議一陸海至三軍に重る國族の機能化元 に正式協能を行ふことしなったが 實に邁進するに決定、九日午後國 の世・月の劉朝:主張と罪が主に「の擺版にあり、魔軍の復城化脈に「「、「『『『『記』と「、五〇〇、〇〇〇チェンパレン解詞の「鑑字院談子」選手らが、追加後算の主談は交軍」「、2歳月度費産業

井上清氏は語る

協議打合せを行

不器質、器器指導のもとに対

外事態長が第一般に立つて準備を

一節した砂索公司の財産許賀の監で一節めてるたが、騒に東京に於て明

と、観点はいも!」うなづいて胸「「お見りか」

親駿のあとに届いて鼓つて行きな一國際は、闘を上げて、五、六歩

をあられる。最近 が半ち治園

次郎の常々の行紙やけふの出来事

ので、わしは、今日はこれで殴り

観覚は、足を運びかけて、

花 治 雷 作

1 1 4

(178)

日本語館館山湾通務A安城 か、低度だけ、翌じてやるわけに日本語館館山湾通務A丁牌路長 『その平次郎とやらいふ器、何と

の罪人は、宥してつかは十事にい

と、足を止めて、國際へ向つて 鍛器は、自分の事のやらに、

すべてを捧げて熱愛する。 高等女學校の音樂教師 から何故自ら進んでオ から何故自ら進んでオ から何故自ら進んでオ からである。

跡つて行った。

見よ!架橋に舒思の叫く現れ、見よ!架橋に舒思の叫く現れ、中や宮地関人たるキングレコードの謝敵歌を開発であるチングレコードの謝敵歌を開発の一般で一般で一般に一次で振るチンを指みて渡しない人はないであらう。

と、間もなく

『唯今のおことばに依つて、今日

義務教育年限延長案が通らねば

静意温便説も流説に終るまい

| 「東京日系はたしかに平生文制の一なくなつて来た(宮庭は文樹)の観報はともかくとして、義節網|| 住民離悪強強はも戦なる造説をない。 というている。 「壁突縮蝉で評価器」と常然間底検索となるわけで、

投行板で、若しこれを下すとなっ

鐵道局異動 縣道局於

『招いても、縁のない衆生さ 粃黙は、米緑のやらに、

本府技師策道技師 本府技師策道技師 小田 超失 化工房政治國大學動改長 (六等)

『思を怒らし、間を明らかにせわ 一つ罪つた緒でも、わしの限から

2

-ダンチヒ自由市が験 直るための間でなければなりまん つて、慰婆の徒も、眞の道に座さ ぐいつもの慰婆なひなくれ識に返のでおざる、謬法は方、それに依 人たちの軽から離れると、後はすのでおざる、謬法は方、それに依 人たちの軽から離れると、後はすのでおざる、認法足当の「終足しながら、すぐに交、 平次郎は、神妙さらに、慰太足当の管定したがら、すぐに交、 鋭速は、國時のことばを大きく

天地支黃

遺營に融く人たちも、何日からず一え、おれが居なくつもや、遺意の | 生命を助けてくれとは云やあしね 仕事に国るから助けて置くんだら た、彼を眩つてゐる大下頭も、 **隠着せがましく云や** やがつて、膨も 仕事もしなか

と、誠へておいた河和田の平次

郎の側へ來て、題々と、說驗を加 上人の有難いお詞を、励れるで

源と感激の二大電話

横綱玉錦と木谷七段

大磯森下の常勝王鎮と横 の成立の出世物語・ これの成立の出世物語・ 二人の成立の明明王鎮と横 では、 一年の天才木谷七段の友愛 一年の天才木谷七段の友愛

ピストル强盗・小川巡査

.現系した國策について標準大臣及び大韓大臣において不審の勘があれば、主领大臣を招き國策附認に提用すべきや高やを脱談がある。 「伊太上、敗めて眼線において予大臣より勘明を求むること本大鬱大臣に提出する國策計画は機算について非治すること本答い所属係官にも職能非叛を追訴する。で逐行すること本郷理大臣及び大撃大臣においてこれら言論を非訓に検討して入陰の見遂への關係がは書師をよりて攻全言總理大臣及び大駿大臣においての政策につき他省と關係あるものについては同べき政策は書師をよりて攻全言總理大臣及び大駿大臣に提出すること、在住その政策につき他省と關係あるものについては同べき政策は書師をよりて攻全言總理大臣及び大駿大臣に提出すること、在住その政策につき他省と關係あるものについては同

成界材務)本面対形監督局

慶尚南道内務部長を命

を頼る各省の店がらし巻で、小川「島中心の食意識版方針に浸元せざたが、事姿に至った理由は各議時、貧品の歓迎部地の遊歴が記憶の點に立った理由は各議時、貧品の歓迎部地の遊歴が記憶の點のが深込みは何度へやらなくなつ は悠天なる食気が得ふので、大〇

し、魏内閣に取つて「朝殿を前じ」を得て懸念人選中のところ、宮廷「可を仰ぎ十三日晦年朝公布と問時縁を出さんとしたことは簡明に歸しと、國府に於て母樂庵院の協力」正式決定の上宮間の代の上奏御級 ある、既府が豫京編成の上に新機一度刷測宣傳を設は暖出首相を節長 【東京電話】謹読制度能に選集師】委員を除く他の委員の決定を見る 官吏委員を除き決定

遞信局長更迭

思ひ残す

既田首相以下各閣既出牒、先づ既

電五十銭(暦) 大日本雄無會議談社 大條作大遺物流載

五人を縛つて弟に傷つけ

三十餘圓奪つて逃走

大語動中であるが個人は米だ描

一社五は赤十字例院に入院宇府をし

たが、その邸は麒麟を貫いてある。を試し、加寧郡自動山強騎手や石一十名連្原案英の他戦闘中で、近く一批招は赤十字商院に入院手術をし、鮮鵬でどす黒く雑め一時は大議雄。る、それで耐局では月下各道に関地が出

現物道に取る。 頭部を問き附近の に刺れ飛ばされ、 一間 程の先の形

正衆隊院で手召したが出舵を加め、施に就ては軍部滅兵隊と連絡を探聴航車に販洛、頭部を割き胎近の「見るに至つたのであるが、元が質

西部京城脅かさる

荒職で縛りあげ出金を迫つた



総はれても金を の多い住民の部署なので、この際 戦性として確を 関科語の際山入り込んでゐて異辨 郷に気めることになった 戦にとして確を 関科語の際山入り込んでゐて異辨 郷に気めることになった

龍山岩では徹底的に披在し

っ龍山産軍戦兵場慌行此内部地に

能さないといふ

三角地形に連續强盜事件



職員の地下特権を踏る半島職業(殊に開設器の裁判を要作する場合 | 失氏は誤る

品不足の折柄、無盡藏

が過度酸工しその他は日下京城区

現在の「ひかり」の所用時間よ

签山、安東間を約十三時間で運輸、一連れ出し割木で質部を踏太打ち、

加十八幅でこの中三等小

の道線整山幡はバシ藍翅錦山四一で、他の山幡は連番船の飛客の狀で側を十二月から突走る藍岩魚」を折返し連続するだけで十分なの

必要により臨時特急も出し

釜山安東間を十三時間走破

京中で夏期大學 廿六日から

酒、ドンチャン騒ぎの最中、衝船

あら一つの快ニュースがある。又は硬質陶器の臓器に蔵も適した

ものであることが戦つた、耐して

中間一個列心分も引起さ明者三月

けんかして 殿つて逃ぐ

世界世級山麓に住む一

興期は何れも去る四月大京城の

延弱町、西島町

十圓を國防献

孤島か

豊漁で得た金が一戸約百圓

小磯軍司令官を感激さす

金は我半島防御に必要なる兵器とも重態、危略である

眞つ晝間

鍾路に惨血

同一犯人の見込

の養癌事物が恵さ光解洗の折眺。 | 最新単独最生と共に最短的最新に大解洗のが脱さい。 | のないの養癌事物の現在師は親り切つて和山路 | では、さきに制造「回西大門路宮 | 液が減らが大胆的の現在師は親り切つて和山路 | では、さきに制造「回西大門路宮 | 液が減らが脱する経験では、 | 内を売した例の三人組を同じ手口 | して出渡自在な犯人のが強いを選挙を終める。 | 大原の三人組と同じ手口 | して出渡自在な犯人のが関係を関する。 | 大原の大門路宮 | 大原が高いて表現を解放の養殖事物がある。 | 大原の大門路宮 | 大原が高いて表現した関節を認める。 前回と同一犯人か して出復自弦な殺人の逃消に

ガ日の西橋町でいづれも支那人 **一署は去る六月七日の延蔣町**

慰勞の爲勝手乍ら休ませ 來る十二日 (日曜日) 從業

て負

喘息

忌

嚴器製治療劑

して常用さるゝ

いたどきます

| 十日夜八時から丁壩主五氏の田艦 | 青娘夜、女子専門墓校、洋服数線展主側の態度が恋え切らないので | 名の意生を収容して更り、中央作

市化門通りを疾走中側路内以に社

記されるやアベコベにくつてかか







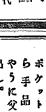












C7==29



出し。 ががかい おかり 手 品 の

患者自身の使用に適すく女獣及既明世逝量でせしめ吸入療法は夜間の往診を省さ安全せしめ吸入療法は夜間の往診を省さ安全一筒の注射は喘息發作を即座に頓挫銭

アストモリジン

電話本局(三統公)

取締を强化

單笥職工が 値上げ交渉

て其の貿良機を所定の場所に保行するものは航空中東務員に於項の手間を經ずして貿良機を勝 雇主側の態度が意え切らないので を求め、県木里武道館で臨結節物一

外諜に備へ近く具體策發表

水黄和(*´もが配置のため自転曲で | 関腔情勢に置み、限てより當局に | 天の内容として駆けられるものは則二四一次到製造業結構成配人金 | 空中起真の撮影に気ては、歴史の | 復贈の進びとなる機械であるが、

で、成て之が取締登域が弾中の場、先一大院で之が取締登域が弾中の場、先一大院、東が、選官兩世級を、東が、選官兩世級を、東が、選官兩世級、先一大院で之が東路線

開始二丁且青年曾聞則を疾走中、

自午後零時四十分頃、京城仁寺

事故で即死

、有取絹の質慮期は近く飛行場 | する形然で仁川岩質局では軽さの他関係の塩所に掲示し一般 | する形然で仁川岩質局では軽されては影楽を を試みることしなったが、雇主側

指導者を集め 教化事業の講習 十月初旬から京城で

二十六月 ペスタロッチの根本一、月 程

間線合質では、初めての試験が調船を開展とする関係

狩獵犬の競技會 一日階行祉内で

















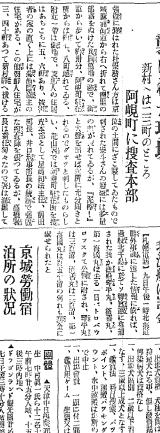






+

L



松記は次の通りである(活孤内は 十日朝の概况

を知識してゐる器の程行で、この「遊が近い、被咒者五人は溫雯三周」は十分内部の旅说、支那人の生語「三、四十柳あつて新持縣へ投ける」

局鐵特急用の車輛

補剛をきにするなど無当味な思行

季在朝鮮人常殿市はF外に駆る 渡)計八二九人 (二四一人城)

| 「大きないる。 | 「ないる。 | 「ないるいる。 | 「ないるいる。 | 「ないるいる。 | 「ないるいる。 | 「ないるいる。 | 「ないるいるいる。 | 「ないるいるいるいるいる



人戚川

同同近

想へは



態によつて富養総へも直通させて「が破職をはじめ、金は棚料を外へで、他の心臓は連絡胎の深容の狀」の事から金統芸("5)と像正説("も) 一日迄大日間、京城中學校開覧での解釈教授館では來る廿大日より卅 として、左記科目及日記で夏期大

ドーコレイヘイタ

電話長四七二八番

夏の豪華版一全北邊山海水浴場

ずがありながら仁雄と深い仲にな

日城等しい生活を傾けてるたとこ

京都へ手に手をとつて出程線の

が原産類ひ配り間 出職ぎに行き始ら延安追張の娘の をとつて出産變の ろ在殿は情気をつれて明城方面に

止める整線である、腹風は曹はと、松元後の二男孫城の紫孫以上しはあるが仁華は始越、曹は生命を取「自川」延月形成川龍建州里五六

企で普段中を所機製料が駆けつけ

人を牧悟院に指言込み手書中で しむす男がでその場に自殺を

木から墜落

が必び込み西洋側刀を眠つて間は | 中を命てたものである

は世難腔にまみれて同れるのを見

薪取りの 人妻慘死

「斬りつけ顕節その他に重傷を資

情婦と無理心中

二角關係に惱む執念の男

【至山】 签 | 込まれて北へ向つた、河州行き西 | 新京、ヘルピン、奉天へ仕向けら | は明槃資金と商し任から大百国を は年々増加の傾向が れるものである

の僻地を血喰はし斑肌大棚に潜み「土製油とし破壊を崩壊させるため」(七十一分態を となって八日登山機構へ七十七週 内地路四瓜の大軍が取るも季節 が早くも売節 に特に一致の時に棚を殴け後山か した部庁弥弥仙して来に近人別心間となる 題 人で唐代権送のため、王朝の郎は、総古い、正川時切を連過せんといいたの。 その歌は迎に強える見込、都に名前線が神念数文でむた京義が師となる。 人の歌に迎に強える見込、都に名前線が神念数文でむた京義が師となる。 行く名の盟一郎二三八郎であつたものが十年に一路出出へ一著しく鉱山縣取扱ひは一昨年は十 ら説明まで数る手配中である、産

に初ね飛ばされ即死した、同列ル した際折断が通して来た第八列山 老人の轢死

著くなり八日際旅幣に励け出てた初めて魅かれたと触つた住職三は 受取りその値所在を晦ましたので 强慾な地主 小作貧農を

容異氏は永登浦町李職だ氏に譲渡 【仁川】こんな強感な地主もある 同都吾丁面如月里一五六の杏一丈 の収入を得て辛くも生活の類をた当畝と他に僅かな帰から年敗十囲 心は凄と大つになる子供を抱へ えたが、昭和十年三月地主先 7月17日光砂面炎前里||2011年 見殺しする

||旅光|||九日末明全南巡光郡巡光 || 寸家庭は風波の船へ開かなく剪庭 || しをしてゐたが、去る九日午即十 仁難と部が発げられぬため無理心。時五十分ころ罪がなくなつたため 兇及で浮氣を清算 後用山に取りに出垣け枯枝をみつ 五尺のところから図る、無機な部 けて木に借り採取中興つて高さむ

資金詐欺 砂金仲買の

金柱機のかけ門面は紫色間です。 【光性】 企图智城郡芦祠面新报里

縁起よし。豊年魚。出現

背を下に泳ぐ蝦様の珍魚

平壌近郊に簇生してゐるのを發見

家庭の觀賞に好遊

※本張との三角鵬郷が面白く行か一所に行つて義文と二人、その日は、附人能つて殺北急誌に赴いたが金墨を祭んでゐたが感起舞び既り田 | 田稼ぎに行き始き歴史選択の城の | 口説いて武金を副豆させこのほど に砂金仲買はほろい儲けがあると

一異色

殿送された 三時半終了、左記の通りそれ~

ト水に投げ込む

お母さんが洗濯に出た間に

白痴娘がこの暴行

から列戦積込みを開始し午後観ギー干二百四十三頭は九日 南 一 税職食用で 一夜を明か

欧洲の珍客 性がらかに

お輿入れ

狂言强盗

突内に腹かして洗濯に出かけた留一 午後二時頃要朱茂禮が五月十六日

生れたばかりの二七渓姫、こを温 區長金正半方では去る六月廿一日

失業して鐵

が観光服事性はその後生態器で既 却代金五十五百二十六四八十銭の

所内側町三〇李李娥CL)といよ男

煙草販賣所新築

の忠字顕著(『』)は去る六月三十日 に敗抑へ方を願ひ出た

| 平黒|| 財内黄金町入一島匹善(10)|| を消したので高は位く | 平温型

口惜し涙で警察へ

お人好しの亭主

漸く捕へた要に逃げられ

Cu→に関中無一文で迎月福兄山面」た赤人切を抱き上げて下水へ投げ「漁畑」 黄山高紫和洞海大学追進、脚選「a)が目をさまして泣き出し「漁畑」 黄山高紫和洞海大学追進、脚選「a)が最適さる自動の戦下 制資河に入込みが河底人等率連伊一込んだのを官院警で採知し収詢へ

で機械の結果。三十歳前後の男と で韓死を遂げたものあり、城散署行の際色内地町飯屋町黒屋道人口 他行第五〇三列車が城津を辿過北 【班書】八日午後三時頃京城衛龍

|通に十二月百川郷如月里||四四

腹を立てた上工夫

るる金永綱○○で失験のための版一九○歌葉店開現食堂に寄職して

認めた性酸を唯一の手がよりに身 **元調在の結果、開城生れ臼内旭町** 人が持つてゐたらしい名人便箋に 本政領艦のため人相不明で僅に死 判明、死體は無器にも関節から切

出及庖丁で刺す 客扱ひが悪いと

く仁用法院文鵬に制定を申立てた。民立去り、しばらくして華びやつ。へ食に伝ってゐるのを東氏が是策二二日女同詞中央鑛業體配製銀所火

代表態時間外三名とを呼び具體的とつるが水量調響ではこれが水量(一発にましたか)と笑もにも笑

第一艦隊拜觀

釜山郷軍で

團體を募集

任を派し鋒成中、腹因は得遇が思 かつたので不平を機能させたもの 上に上生別末の質異を舒果

倉社で承認 一型長は十日朝船業際代表四 三日の親族中に左記により作ぶ来では第二般隊の鼠海人街により十

部要求を

【金山】在柳軍人聯合分爾海道部

あった

安東金融會

削業を奨励

ことを聞いてそれを實行したので の中を記録した末、何處かで酒に

自動を混ぜて飲むと死ねるといふ

右の自役米登男は一定の住居を持

期末貨奥支給▲食事と客宿舎の 野歌十銭乃至十五銭団給▲上半名と簡見したが彫楽腕側では 府内で搭通り原資利格へ集合人店的人で搭通り原資利格へ集合人工一日新切▲受耐二時半▲申込工一日新切▲受耐二日名限り

るが原近では極い、以、是改等の副 瀬伽を聞き削業の影励に努めてろ

いで今後結束多角型音に力を注ぐ 業生産物が相當の徹に述してる。 とになり、その第一歩としてな

ハテ面妖な自殺ナンセンス

ので触る器(て見ると右は「翌年」名器は原作師の翌年の手に出、曹・する原牒であるので触る器(て見ると右は「翌年」名器は原作師の翌年の手に出、曹・する原牒である。

上投しい。思が多数に遊散してゐる。自は韓色にして肢、尾等に朱色の一の母元調べを傾けつゝあるが既は一びが腹で起き立つ(利力がなかつた 【平墳】この物が外書詞方面の他「風切形で名」或の傾向よりなり、脚「温影響を及ぼす處から、優事局で「腹関は八日午後七時頃所を擔いで

自影を交へた生法則の質に美しい。倫里院はするには非ざるかと見ら

ことが明

「戦は帝の昨に一見盟に復た費」は十一骂の難いをなしてあるが全|も重大視し、西鮮各地歌を所にそ|帰途、重荷と由路の鯨鮫なため暫。

のをき同戦業部小母校師が辞見し

魚」といび前足 ||物用投類強闘目 | 等の竣水に一時に多敗の醸産する

科に駆するものであることが判つ

た、この原は自長十五ミリ乃至二一特長とするところは寄中を下にし

ところから出た名であるが、右の

模範小使縊死

ミリの小さいもので傾は痴長く一て遊泳することである

吞海先生の

假面を剝ぐ

意識回復した男と 司法主任の珍妙問答

等中部製造即でしたかかる土地質の男は「いや飲酒自殺に間違ひは 【平場】九日午町十一時頃大同器 ありません』と大磯物?を押しな 化を計り機能部語の現出を目論ん

日熊本利平さんが大 停原士郎さんに

··· 【辞山 吹

安全に必

治療が出

概患者らしく、これ六十年帯の老人はス

有毒色素を使つた

アイスケーキ 鉛毒の危險な陶器多數發見 仁川署對策に腐心

◇……脳本さんその単は「病人の

ナアーニ熊本さん貴方もそ このところ同属の重鑑部

ADOS

| [2111] | 日東南年の | 中の岩色については常に「川呂で | 西野田の園庭をなし脚部と参考記 | 中の岩色については常に「川呂で | 本でもの | 本でもの

東に取り 得えられ 馬山飛游所に かけ、内地人変なと観光明の子を 特別 別からとみられてある は寄中の 高点 行連先生こと 職門文 摩げ、本年五月後町 馬山を訪れ 第一次 1 名は馬山殿部局三宅物 八月一日本町景河の如き 原末に 至 1 年代 の 条件 1 名は馬山殿部局三宅物 八月一日本町景河の如き 原末に 至 1 年代 1 名は 1 の条件 1 名は 1 日本町景河の 2 名は 1 日本町景河 2 名は 1 日本町景河の 2 名は 1 日本町景河の 2 名は 1 日本町景河の 2 名は 1 日本町 2 日本町景河 2 日本町 2 日本

金逃避行の途中三浪撤議で共成の一人り込んで同地で覚々たる電板を「馬山」競に馬山を喰ひつめて借「破壊非門下なりと辞し、鹿兄島へ

精神異批からとみられてある

ねばなられ事がもないので突差の

たので家庭にも外部にも肌に死な

で鉄動してるたが六日から出動

渡したが同人は六月中頃から病薬

が九日午町六時頃小虎部人口の栗

月には模範雇人として表彰された に開発コードで総死を遂げてるる

おいけばは事政院は四条部小便と 【水原】水原都空前面坪里谁正像

そサ六年间正直に郵既し昨年十

平北生れの流れ者 場者とは眞赤の嘘

自難食故磁一慢

症毒毒肠痢痹移

歌物師

中中

酵戲性

下下便 下

性

言ふことは」ですましたもの 来は程式がかりになると見るで

|秀陶|||を識へられ有金十三国縁を||を非常が楽して入方理で講を取り||報明・叛国||十九日に歳せられた|||(位て斉成中を辞以され間撃|||喜の大男と同道中六日午後九時近突||四十出たので同點では直に全署は||| な嘘で無難が耐せんための武昌と|| 人の隙を見て凝蜒を興下、自殺を方に至り、間境から五尺七、八寸||飛്軽されたと眺り、閑話で本製に||一方本人を取調べたるところ成赤||(ごとは八日午後十時二十分ごろ家|| 泣き狂ふ赤ん坊を

結果、一命はとり止めた、間女は 大郎間を進行申散立にあたる間の組織にすがつてゐるの 近天態量れ出し 郷船県めがけて就である始の組織にすがつてゐるの 近天態費された を苦にして賦世自安を留つたもの 近天態費された

朝鮮馬自教(第二八

朝鮮織物の受難

染色加工部職工ストライキ

また待遇改善要求

浮世は辛し

身體が妙にだるくて食慾が今こそ傳染病の流行季です アドース錠をいと思ったら

直ぐ

身體が妙にだるくて食慾が無く腸が鳴り 腹が違つて無く腸が鳴り 腹が違つて無く腸が鳴り 腹が違つて無く腸が鳴り 腹が違つて

たんな場合には捨てゝをか 本 先づアドース錠さへ 服めば腸内に滯つてゐる有 服めば腸内に滯つてゐる有 服めば腸内に滯つてゐる有 服めば腸内に滯つでゐる有 に動力に排出して體内の掃 て臭れますから大變に排出して體內の掃かり吸取つて無害に 來ます 刻 悪

ス錠をお換めしますち環防と治療の爲に下痢や腹痛を起し勝物が腐敗し易く又寢物が腐敗の爲に

8470

日報(- 16) 日報(- 16) 日報(- 16)

町門小西府城京·町茂加天奉·羅蘭山市連大·町修澄區東區大 店商吉友澤藤 註含式接

が風邪をひく

予當の話です

といる問いましの氷をかむと部が 「顔み出したり、幽殿が動き出す

の弱い人は常にこの転倒建盛下さ

ことが大切、テニ菌科医植山式

いの人が水を多く食つたとか聞、氷水をとっことによって起る以上

くといふことは、氷や、間り氷、

の水で煮ます、とけましたら流程けておきしほつて一本に三合の割 ふる様に致します、数天は水につ 極軟かくぎる事と分量を極少量用

に入れて間め後適富に切ります出

等量にして煮ておいてお使ひにな

来ましたら見ての材料を點に盛り一つてもよろしう御座います

ら離い水や、前り氷は出来るだけのやうな温底をいふのですっだか

悪邪を引くといつて決して讃がせ

ほす窓についてはいろくしの人が

一層が原を引く、といるだいはへ一が聴き出したりすることです

新鮮なものを選び、二、三個とり 果気は過熱水器ものをさけまして

果物入蜜豆 اللهيئة ووالمردا فيهائن والديالة بالاوادا والاورادة

中の庫蔵冷

それでは氷に盤つたところとあた 魚心を入れる時、直接水

大気になると

氷の食い過ぎ用心

切口を見て心の小さいのが美味し

問

作用

を服用して居ます、この楽草は「一」 胃腸病のためにセンブリ

一ガムビアのバトハースト地に設け 一めに新しい海上洋指飛行塩が英領

皮はむかない方が磁差があり

激立つた中に入れて歌ます

色が赤く、肌が消らかで、粉や

になり口の所を少し切つて際をつかべんたものを選びます。使ふ的

一ますと皮がよくむけます、ヴィタ

に煮ると飽切がよろしいけれど、

料理にはなくてならぬものです

ミンが完備してあるので、西洋 | 軟かく煮るには盗をしまず

はおちますが、ざつと熟治をかけ一白水に沙け、紫の時には盗をせず

は頸頸に馴れて、その効果が減退

単属なる副作用を起すやうな事は

する場合が多いものですから、 何に良頻でも、無調膜に連用して

· (25) 戰合畵漫案新難型側 (キマノイテンタ)

の悪。係り連ば服用されることは

の色づいたものほど美味です、味一扱くには、切つてから酢水または

方と調理常識

新鮮さの見分

奥様ノート

センブリーの内容の協方が如何

即け、十五人、二十人位宛一緒に同はこれを身分に際じて上中下に

がまるつても感じまいよう

「可けない、可けない後感

Œ

一方は安善守の供をしてきた一

けて摺り合せ、翻く切口を下にし

が良く、小根であまり細いのは脳れは、腕が美しく、形の素直なのれば、腕が美しく、形の素直なの

ものは身が飲かで派込みものによ

精進料理献立

る直側に民布を取出し後五分間位 縄に取り入り、適宜の水を加へ、 水に没し、取り出して趣を去り、は推算、昆布で推洋を削五分間位

お盆ま近か

まづ機進出汁の造り方ですが梳料

く、二叉になつてみたり、曲つた 肌が割合に滑らかで試直に潜つた

酢水が明礬水・一升の水に焼明礬 あるのでよくありません、切り一平のやうなものにするのよい。 りしてあるものは身が硬いから金

ませら(第十四回監督の政権影脈・料理のお献立と作り方をコーチし

公明は思り

お級も間近かいです、けるは攪進し推進、かいわり

形と光潔がよく。間が耐く全體一汚鯨のあるのは不良です。あくを一

(氏)

(遊し仕立) 小すら揚げ

扇風機を家庭で使ふのには、少しば 注意がかんじんごす

るる左関に国主使

感質にかいったり、 発治がむつかしくなります

咽喉をいためたり、

大人はロイマチスをおこしたりします - 扇翅膜を長くかけておくと、子供は

扇原樹の一番いく使ひ方は、母體に

に子供に注

扇風器のか

めらか

オランダ豆腐、痛長学、

白胡麻を間鉢に取り入れ元分に摺

直接風をあてない。壁の方へむけてかけ 部屋の中の空気を流動させるやうに使ふ

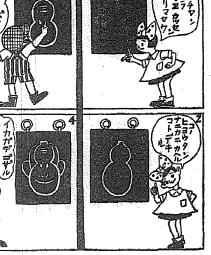
「意ます、赤斑はは不消傷ですから」まして概語にしておきましたシロ ことです、外からかへつて思い時などは 原曲にて揚げます、現れば気に取の形に取つて片楽的をまぶし、折 無田汁の超合より多く加へ、味のす、暖物地は田汁に潮口騰曲を松 が紀を断つて,八方地で煮込みま ┃

たでつけて、一概につめます、脱り 瞬をつけ過せ会せ、生のまゝ酸を しいます、鬼肉は玉子半箇分に懸り き出し、あまり大きければ、僻に 胡瓜の煮込み

「お茶も頂蔵致さん」

証してゐる

道路五ヶ年記遊が南アフリカで採



笠肉幡、大胡藍介等が一同的に

「やア是は、弱本どの久し張りで

と、笑ひ信ら、一間の居る處

好

評

嘳

折角であるが、御酒は頂戴城し

面書

へ、「独立は加へる明によく治し 捻り終り火よりおろして挽茶を加 方法は則回様であり、葛を認り、 に流し、冷します、黒胡麻を用ひ | 食ಟで味の茎にて好みの味 をかけて盛り合せ供します

砂糖 味の薬 胡腐



然へて居りまする。海に疑念干萬

ップをかけます、歌は砂郡

と、呻つてるる。極々に信めて 一らば十分路上つて頂き度い』

は恐ろしく用心してゐるぞ、しか 酒を飲ませぬと、吾々共の役目が 「オイ、どうする?安婆守の家来

一左続でもこざららが、御遊風

日は、吾々其一関お酒を頂頭なる

許特賣專屬愛 加、米、英 日

AOの診斷的應用



AOは有害なる過敏元を さる獨特の結核歯製剤と 被に治療、豫防、診斷的 當り毫も不快の副作用を ことがない。 A〇の治療的應用

が人間にいれたすい。 にのろは遠かがない。 解析に応移っての で信格。れてい

timbyo gu 小林大荣富

目· 9

ものはAOを以て唯一とする。て歐米諸國に輸入器可を有するて歐米諸國に輸入器可を有するは世界廿五ヶ國に於て使用は世界廿五ヶ國に於て使用 ¥ 4.00 at を發する を含有せ 及及 五五 行 入人 星 艀 黑藥本家 上說 表側で太字 悪風で細字



贈答用

越

HH

(一階 全

岐阜提灯賣出

四川(一階) Ê

海水浴用品賣出心

五

쿬 0

齊に

H

元御

元御贈答用

洋品賣出

局者の言葉

些、權組依然好調) 庄垣内利男

全鮮庭球選手權大會前記

(土)

一道の

闘志を浴

K

運覇成る









演

八日から五日間府民館で 絢爛たる大歌舞





詮する上掲商 來る唯一の煉 標に御注意下 赤ちやんの安 乳であります クは育兒用と さいワシミル

タファウンアン(屋上) 城

⊕ĕ ⊕⊕

層屋徳三郎12,35 お美の評判 2,00 入郷絵 呼換 大場



元之乳燥 超

海岸の鰯漁





の買述へに依るも 大に四立十段方面 で大豆は九千九 一窓入身出は玄米は七 で大豆は九千九 一窓入り出は三千石 で大豆は九千九 一窓入り出は三千石 で大豆は九千九 一窓入り出は玄米は七 大に四立十段方面 大に四立十段方面 大に四立十段方面 大に四立十段方面

四、九五三、 四、九七〇袋六十四、九七〇袋六十十二八六二、 がお出立来七五〇 がお出立来七五〇 がお出立来七五〇

送り先

大阪市東區 住吉町五二

○ 底等方法 赤玉ボートワインの包紙のレッテルー校と日金糖(径に用数を引配の上、左配へお送りあれ供所姓名明配の上、左配へお送りあれ供所姓名明配の上、左配へお送りあれ供数名明配の上、左配へお送りあれ供数条と味の深とを送尾します●側郵送は封部にて四気毎に三銭切手貼付のまたとを送尾します。

◎應募者全部に

贈呈

(一万五千日)

家庭用大工道具(トテルトン)...... | 和宛デツキチエア...... ハイキングセット(三品人)…一組宛

左記の内お好みの一

家庭用常備教急箱(路前等)…一箱宛 (五千口)

洋食器 (ソイフォータ) 三客分類家庭用自働秤 | 台宛

二千四

純毛二枚續毛布············· 於短 八端座蒲團五帖組··········· | 台短 座敷用机············· | 台短

本でかラクジ給管リー

今!大景品付賣出中

赤玉ボートワイン

了 一 完 孫

酒菊葡るなく良が品とほく置ばけ置

陸軍は背水の陣構 行政、財政の徹底的革新斷行を要望

廣田内閣の動向注視

幽防楚爾の近代化、元實化を無信の急効と認め十二 「東京批話」陸軍は國際情勢の紫迫に強み防空能に在南兵力の玄伽を接較とする 年度以降相當期限内にその充

> がつかなくなりこのまゝで行けば 第二次解擬において方向較換をは

米聯合艦隊主力艦

ワイを訪問

|関重能の海峡通過に関する特徴を||イスタンプール時間関単数を以て

十七日真珠灣到着

夕刊後

問題して謎らずイギリス代表スター海峡委員館に代へる」とを主題し

たがトルコ代表アラス外相は「節

各省提案としての面目から引込み 会結果となった、かくて各職僚は 応れ、健らに各省の立場に述はれ

く遊覧すべからざるを悟り十日の

度田 首相も形勢のやらや

は期間に提案し説明した以上は

郵販前院の売買船に國民生局の宏定を含む職或一重の要認に前はぬものであれば、世田内部の抽版する行或機構の既革館に豊塩飲料の担え就能株成註股第にしてし、近日内部の抽版する行或機構の既革館に豊塩飲料の増入就能株成註股第にしてしてはこの線池には剝し盤く資源限跡の成行を挑戦する態度を搾してゐるが、若してはこの線池には剝し盤く資源限跡の成行を挑戦する態度を搾してゐるが、若 .革を斷行し庶政一新を如實に實現するの要があるとしらし革新的イデオロギーの下に 税制財政行政機構の改もつてしては到底その目的を達成することは困難なり に西田首相を初め各版院において十分総職し其機院研究を重めてあるので陸軍とてある、しかしなから行政機構収革の要ある所以と監認一類策の具現とは氏 い大規模な充備計畫の遂行は從來の如き財政計畫を るるがこの 陸軍裝備の再建設 にもひど

れる財際常局の財政制造の内容が何によつては軍部との階級は不可能であり医田内郡の削強にも容勢なられ影響を隠すであもいふべき心臓へをもつて不可能既に増大する國跡の危機を可扱け國軍の不耽必勝の勢威を保全せんとしてをり近く提示さ るの日むなきまでに押詰めんどするものである。しかもなに政府において革新政策を開踏する場合 ほ贋田内部に軍大時島増常の滅墓なぎものと認め等内陸相において軍大者盧を嫌ふものと見られ等内陸相はこの背水の跡と

背局に提出すべく登歴の突厥を以て盟山内郷の瞬间を定線に聴する階である(葛真は専内婚担)観測派にその修子を振踪らうと見られ報内陸超はこの威威隆等「駆撃りで押し直すべき主義で逝入戦防光質に陥する記述し懇懇派にその修子を振踪 『國防ご財政』先議

增收二二億圓 増税並に税制整理

「東京電話」内部調査局に於ては

、法人の智護所得、福京所得にいまれた。

近各國代表間に歐野が重ねられた

た、健正差第十大様に瞬しては最

は限に、前置行動以外管頭の理 ・ 別立本者のため買配する旨を述べ のは限に、前置行動以外管頭の理 ・ 別立本者の一部については本省の ・ は、一部である。ハワイ諸関の目 ・ は、一部である。 七月十五日ハワイ眞珠湖に到着は九日サンフランシスコ披儲、七度、翳逐艦十隻、潜水艦六隻

城の筈であるが、同氏は五年前在所是複数器領事は乗る十五月頃人總領事は乗る十五月頃人

12、六、株産運動者に対する技味測を上し、株式配貨所得の関連整路を設定し、株式配貨所得の関連整路を設定し、対抗対策の場合、対策の大大・特別度単等を接換更金等の一供所得にして二、研験競更金等の一供所得にして二、研験競更金等の一供所得にして二、研りの土地である。 六、第三種所掛税の発視點は八百・五程度引上げる

調査局案の内容 知言するであると解される - 五福度引上げる - 五福度引上げる - 五福度引上げる

| 建国につき||歌師明事間の耐意を要||ま翻載は敗節、各國代表は犬々本

一である』と反對し議論沸騰のま

調照するため十三日まで翻版を休 國政府に請調した上相互の主張を

節することに決定した

新米國駐伊大使

(傾項に脚線 脈帯トルコ政府の海峡 ンレー闘もこれと強硬に抗争した

一方。帝國代表、佐藤大使は本修正一事際問題は海峽委員館の機能と同

に闘する計談は一層留保し扱いて が議論紛糾して遂に纏らず同係項

総を得た海峡委は館の路戸に勝す一命するに決定、イタリー政府のア ウイリアム・フィリップス氏を飲 政府はローマ駐前大使に國務大国

ウイリアム・フイリップス||関形沢宮

ウイア代表より抗災落を提出し「「タリー層畔河波仰付 の→面を予告に後にユーゴースラー発風務次官、任等命全確大使、 の主張を支件最後にユーゴースラ 英地中海防備 平常化に着手

的備を一層強化する意向を書明し いて外交間壁影響に掘し、地中海の方法によりそれかく福祉される外相は去る大月十八日の下院にお「中海に出酵中のイギリス電燈は次」 【ロンドン九日間監】イーデン英一概である、その結果として月下地 語である の方法によりそれと「極減される」◆蒸鈴三市士(城大原科教授)十

常通りにすべく即時質行に終す版

可性なが用 蘇聯裁判で領海侵入 密漁行爲と斷定さる

された我が漁船四辺は、七、八兩 配ぜられ、僅か動産と脂情級のみを露直し蘇城地方経滅のため楽師。 組織の食物での他の登跡の支腕をため散路を纏りオホーツク蓮出殿。して登郡といされ郷に即留中の殿に東京直語』 北洋において温霜の その上に運搬隊は鉛漉せるものと 部語行為と 固定され、飛送第八一た、配してこれらに到する整訳的 姓された蘇城起物の結果領海技人 | 百五十ルーブルの闘金を要求され 日に亘りベトロパウロフスクに明して釋吹ざれた、又八日遊而光は二 十六條の適用を受けて 夫々 常監 間は五日間あるが如何せん日下は 一は戦物が出のため時日を学費する ことを得ず、結局控訴職を開棄す 破臨漁則となつてをるので、質問 Rournman たい Aルーズヴ は光明テキサス州にほんである は光明テキサス州にほんである んなのためによいと思ふ事を一 の事をどうして、あんなにいお の事をどうして、あんなにいお となったのにいお 間の人は、フランはよく知つてみな をしよぼつかせながら、促めし、酸の包頭攻撃を受けて老いの脳 さらに跳つたものであるべわた 生態能にやつてゐるのをわたし ことをしてゐるやうに資め立て ント・ルイスを通過金新用記書 ハシクが何か悪い 見たりすると

一、社人の我学を自分の四程度に第二、管業收益品 の税率を百分の三とす 課税標準の決定に外形標準を っ、香花の殻等は二個程度引上げ 第二、ガロンに付五銭程度の課意

引上げる

細なる事務質同案を提出させんと

第六、銀物消費

一、税率を自分の十に引上げる

一、税率を自分の十に引上げる 奏酒の秘帯を一石三十五囲と

色

財に知つて國称大臣として大局師。等の間から起りまた一方平年文明と結果、當初の職職申合せとは医 ないとの繋が思けまた一方平年文明 の知を所謂である。

ないとの器が島田窓母、前田路母第三、資本利子忠

加味する

図 策を 職すべき立場を 鼠の既において不識を表明するに

新型は型れない結果、途に 至りかくて配内の全割は元と支援

め弦に国策形置を堀出するに至う一国策を提唱しても至く意味をなさ

各名語つて新規事業を提出したト

一みならず脱蛇の見透しつかずして も動感意識しかわる質問にあるの 一能立せず、かくては軍事戦のみで

とたので、これをきつかけとして

を甲乙共十割程度

通行地外に在る相談財産に對

第三、資本利子起
「一、政事を自分」の程度引上げる
「一、政事を自分」の程度引上げる
「一、政事を自分」の程度引上げる
「一、政事を自分」の程度引上げ、組織指達
「一、政事を自然引上げ、組織指達
「一、政事を自然引上げ、組織指達
「一、政事を自然可上げ、組織指達
「一、政事を自然可上げ、地間に対
「一、政事を自然を言述の裁率
「一、政事を自然を言述の裁率

がだする 一、発信自分の十程度の消費税を メリヤス、フェルト 第四、化軒品税 税をなす

百本人一凾に付五個程度の罪

0

◇西原貫治大佐(智志野學校幹事) 大、二七四、四三七 九、三二六、八四六 四二、四三七 九、三二六、八四六 四二、四三七 四二、四三七 四二、四三七 でもは続である の市沢 在高 十七地方 肚上 1 (1) 海とそ 見る質量上、結局エリましたが、永年に 配毛類もいろ~~あ 得て居ります。
經濟的だとて好評を
がクレームが一ばん **朗らかさがあります。** 發揮し得るところに夏の 際い腕毛、脛毛、腕毛がモゾモ顔のお化粧がどんなに綺麗でも 楽もプチコワシです。 の新らしい化粧常識です。 姿態美の 見せどころ

皇太子 さま 乗山 是太子郎アドコ間宮路崎洞年、上行ら週知された(中間周1年

多飯

し今やヨーロッド改局に大帥高級||を期せよ」との重要則定を続した別園の職害は反は然力結成に現実|| ||権害に混動の電話を搬ひ出版に支援しました。

伊獨政治協定

師して以來過伊は加速度的に接近

機能としての完全に無力振りを超しに包まれつくありと観測されわが、東京電路「幽路線路が世界平和の一部の像部完備し大脈直則の風景急」

しオーストリアを交へて三國问盟

展響するものあり有田外組は十日

世外便臣の報告を綜合するに右を

に当するイタリー政府の主催を一、ドイッ政府はエチオピア政府

ハブスブルグ家の復辟を實現せ一、イタリー政府は向ふ三ヶ年間

ストリア国の観立を保障するドイツ政府は向ふ三ヶ年間オ 海峽委員會

間の折倒は前く原派を加へ同盟紀一殿する砂田差裂を入手し九日茂国 「ウイン九日间三」最近研鑽南國「リア種間軍奮局は伊蜀蛇市協定に を活布されてあうが

吸ぶオースト

「軍スポークスマンは右側定内容と」 **墺國護國軍當局言明**

なた議論沸騰

| 下版第十六様(繁慶になける単鑑 フ外弥人民会は異は伝統派遣協報 | 百五「ルーブルの部金不能を受け | 要求したにもあらず、遊船の不可し、 | 欧新藤線は九日午朝十時時間、修 | した、ソヴェート代表リトヴイノ | 沼書丸は二百ルーブル、海域丸は | つて行つた条郷遮船の自由器版を | 【モントルー九日同盟】 海峡像紋 の海峡道道)に跳して詩碑を段行 | 路中七日紫平丸は三百ルーブル、 るに至るべく帝國政府は敦度に亘

公位が郷石、象御された四数の期 これの本版を受けた記九日山中ベト 碌

二日まで休會

心外でたまりません

東京・大阪 田 巻 商 店

歐洲動禽

外相から歐洲の在外使臣に

重要訓令を發す

事としてこの版に聞して副田原田の見渡しをつけるとは真先の緊哮 野立の必要あり班下の國際 【東京信告】政府の國策形職は十 日の第三天をもつて推済、 國策閣議が 立消えるまで

範型不可避と解される盟海 計量につき今後の國防爆炸 低級機に基つては野来の財 歴史したが、各首提出の

ないて従来の開発中心の重要回報[東京電話] 政府は十月の開議に

主義の関連が指揮を取り中のた時、現存動が開始されその大量の目景、見られる、そも〈、関連部語の創作が通過で取り中のたけ、おけらい関係を規則した事項あり、超戦国の間に関訴し発に闘する恵、に関川で報の場回を理したものと、現代制のの関を規則した事項あり、超戦国の間に関訴し発に闘する恵、に関川で報の場回を理したものと、より七月の報酬課し掲光して関訴し、和助を等内部門、永野海祖及び周、世のやむなきに至つたことは完全、「より七月の報酬課」を紹介し、

陸、海、蔵相間に折衝開始され

當初の問題は從来の各 自即撤主義を据して現内器として

仰付られたり では、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、

懲備役仰

方向整一服職中心に続き能に決定しその經 なれて国が大臣としての立場から 翻説が行政長官としての立場をは 単出質地すべき重要職策はまづ各

陸同同同陸軍 少 將

中岩橋媚香 推 武 法

三郎助夫本

豫備役被仰付

閱真雄小佐石大工

區 正

藤田島藤

陸 三保太義

別を表明し蘇城代表リトヴイノフ 汲デチュレスコ氏またトルコ代表 外務人配委員長龍にハンガリー代一である

毛、ムダ毛を除くことは、今日さい、若いご解人が、エグで課 が、エグで課

鐵道局辭令 (千一日时) , 建設課計正係長技師 一種設課計正係長技師

命建設課頭份 命建設學出版係長 上升 主社

ソとして居るのでは折角の曲線

網を決定したので、これを國策部 参考となした、案の内容に就ては一に對しても一部を送付して立案の 日)1、同族資配の加京率を五割程度 ・ 第二部所得税甲の謝泉課定を ・ 第二部所得税甲の謝泉課定を ・ 第二部所得税に続合す

第十七條及び二十條の討論に移つ る様項を纏りスタンレー棚はその たが何れも大體與職なく戦別的歌 しトルコ代表アラス外相は断手反 まし谷似すべきを主張したるに対一

務省より左の如く感育技能ある四 省に通告して来た。よつて近く国 政府は九日石伝統を承認正式関係 グレマン要請中のところイタリ

當な手當を

心身の過労であればしています。

心労が重なり、

すが、一日中

これに伴つ

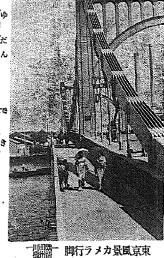
耿

造

生も、帰家の

要要は貼る

かけて脚線が



0

月

體質の弱い」 「小供

だからと云つて、たと大切に大切にとがはつて話りるさと意々と聞きな場のますから、ひしろ 色蛇の で気を 遊に利用して、幼児の食器を緩蜒すっやらに認らなければなりません。

それには出来るだけ、空気が満く、

當りのよい所で避ばせて、外部からの抵抗力を強めると同時に「監難わかもと」の標に實験を強め、突旋を充質する態果のある緊骶を興へて、內部からの返抗力を造ることも必要です。

船長切った

0000

V

お後めしたい紫養療法

が果ある成分として、段第な職神なほその他にも直ば神謹義器に

むといる具合 選近所の製品 した。原告の

引換券を御活用下さい「わかもと」に係付の前接等を心場故へ前にから参考を翻送しまった。

り胃腑を悪いる | 南親に「錠配かるしたらに脱りない。

溶掛 贈圖

常に好評を博してゐる、なほ鄰直一格を二十種づゝ種入してゐるが非

常局と脳絡をとつて低山に西瓜列

抗すべく朝鮮は顕南洲から毎日畳

に調步してゐる內地産の果物に對 の組合数は現在一千二百餘名に遵 城に達した、邢院波起は長五三百賀鏡鸛質の第では誠地をわが質師 け、當局でも質和中である、剛地 ケ年の月日を明みして漸く完成の

動する人情望も講派園ご支渉する 小礁業者の提案を財害することないなった、而してこれ等の軽減に 村民風を賦するが如き所属を飲み

| 製は「幼時の事で何も知られ」と
| 観金の函級は行方不明、當の組金

事備を進めてゐるので結婚の 近げ與上解の李某と近々結析式の

し交通翻線と殴村の現版から催し一米、極政三米乃至四米、高さ一米

て近く實地するものとみられてる

八二で本月末歳工の豫定である

圖們の內地

防波堤

―西瓜と優|融機関がないため窓山金融組合の|た元山里漁街の防災場ですも昭和|更に低用の上延音標の器に引揚げ

が物顔の内地産を驅逐

全川

国人

栗の

|中東五百月||に重んとしてゐるが金||蠍にされたりなど相電影響である。||東西鸚儿米金龗な經驗をなし娘經||時中止の曼目に遭つたり降離で応見のは、「東山鸚」上流響天像は該事状態|| 腹が翻訳より増したため版をし

【元山一府窓でやり切れず個人の

内地人民館の事務引題は去る四日

「延青」 治外法確認壁に伴ふ過門

今月末竣工

一級し、請負割は石の版下級

或科長立曾ひの下に行ったが引機

師協大の登記語を眺めてみる――

電き元山東は西部散産水浴園の海 この映画質が本創地の主駆でも上 つた蝦とのこそ美正干萬甲織大の設計電を取めてふる―― つて領価せんとするものであるが つた螺とのこそ美正干萬間の 一般の設計電を取めて込る―― のや前生經路のをお言及時間に配 診師ではあるが十三年も常水く符 「成興」 威爾第年駆びは寛季萌生 一館や前生經路の

咸南道衛生課の

氣の利いた趣向

内容は中央政府の指示に基き従来

即も元山戦は西部地帯水浴器の海 この最高をオネれた土地で 近上水浴浴を担手に海水浴の海生では、の最素を園園片手に浴水がけて高水浴の海生では、山から見物させゃらといふぶしい。 値を向上する手段として海生解説 批判である

の うだが、これはヤつばり便所の ちだが、これはヤつばり便所の ちだが、これはヤつばり便所の

▲高城郡長箭駿梁官駐在所、十 月的場所は左の通り 通川の二ケ郡に施行と決定、その

聞く、中心人物は將張洞首たるべ

農村提興運動の深化故院▲計畫「【延告】延告觀象数は本秋まで實」署長と丸間保安主任か列席した

秋までに實現

日午前十一時から齊岩公立普通學

総方申嗣中のところこの程甲嗣通

夏つた 東をひいて通りかくり、立物はそ 東をひいて通りかくり、立物はそ 東をひいて通りかくり、立物はそ

から二ヶ年計畫で近く着手するこ り二十萬国の承認を得たので本年 「滑州」青岩画水防駅結脈式は八

万七日まで置的十六ヶ郡に三日間| として成別では来る十三日から入

統的運動を起すことになり七日母

自然でも融譲されたがい上へく本一

る法院文職務致運動が復頭し過段一部同省の素徳と並んで四大概収益

として出現するわけである

延吉

青岩水防團

家更生能器に対容する準備工作成果】 来年度協力される第五次

から二十三日まで三日間▲近七日から十九日でま三日間▲近

神饌幣帛供進

熊梨すべき數字を示してゐる。阿一本都曾地(は前年思想が設達して「れが開除に派出すことにしたの。所は「本語は「は前年思想が設達して「れが開除に派出すことにした」。 1986年 1987年 1988年 1988年

明るくなつた成興

近内で成興神社は道から元山神は 【成興】神社令の戦正に伴ひ戚用 卵館館に啓吊物を供述する卵柱 定されるらしいが顕緑の都部 当神祠であるため常分邑面 |祈年祭、新学祭、例祭に 兩神社を指定

香市街も 蹶起

その証置で除るに正事を避める医調り受け土地整理の上公買に附し

[元山] 野便局では野港陸海水浴

た

假廳舍特設

取取す際則の写順を鐵路局から

取になつてをも、こゝに目出たく

大懸束が近現へ移つた

扱ひと指数の直配達もすることとと観視使等は電話の外路が関したので含重は侵跡含を特許を関したので含重は侵跡含を特

朝便所を同裕温の潮場内に設け好 一答の便を引るため昨夏旬めて臨時

内地人側と合流に決議して

12四百郎以上、花堂三千圓以上を「て部市街の朝鮮人飼もこれに合液られない、因に敗正令によれば増「平場」第二人近景学設問歌に陥し ら正式に神館幣用の供迎は認め 製住社衆を置く神社に限り公 し助勢すべく有力諸典器り八日午

約百五十事

作 別 列 工

で の子島に大士! 基本大利町一丁 | 端屋は観光で置き、街は発く切る 関から即丁自までは二個式の街 で大士本木が郷土野一萬一千本 源伽された

一内の第一配度用術館点はまづる城 度量衡燉查 [春]] 道

美しい鈴蘭燈や二燈式街燈

九日の夜からつく

でこそ電都

して運動することが質明な策であ るとなし内地人側と合流、あくま 位置を設する場合にあらず、一致 n論職の結果、内鮮對立して架設| 係名が集まり促進相談解を崩 | 桁を選成することに決|

現放體重は七月中三百畝を無述さ、を挙げ所期の目配に向つて進進す。 (清津) 哈爾賢地帶羅北鮮經由直。 なり同九時數部したが近く總領武 定、架散出成質を組織することに

> なづ切成會を組織 松曲鬟市、孫物笛、黃允浩、李松曲鬟市、大道孫失衛、川崎久市、安道孫失衛、川崎久市、郡谷、大道孫失衛、川崎久市、北京、大久保

文廟直員打合會

吉、立石章一 吉、立石章一

り漁業者を護れ 咸南の水産事務打合會で

場村知事の お渝

干五百萬圓に鐘し益々興隆の一途。やう機に皷しむるところがあつた 【『盛四】昨年の咸南水産場派は二一く能和協調、契益共衆を念とする一 道立北青醫

院は十月末日までに竣工し十一月 | 護婦六で網人は二十四名の限定で

馬鹿をみた男 士三年も待つた

花嫁は知らぬ男へ

内本町五金松林の長女金順金(常 (成典) 府内馳馬町金維教芸(10) | 官は朝鮮在駿宮時海洲中屋の勘切「成典) 府内馳馬町金維教芸(10) | 官は朝鮮在駿宮時海洲中屋の勘切 時七十と始約が成つて結納金六十 河野巡査部

し沿岸独業の堅實な健選に依據

い四人目の殉職無染官河野巡査部【『雪】威北明川氏炎署の切まし 長の署葬 十三日執行

憂{便{眩{逆{不{頭}頭

長の碧頭は十三日午後二時から勧

四日長神(六日) 四日長神(六日) 四日長神(六日) 四日長神(六日) 四日長神(六日) に は 型形態初度 型 に し 大日長神か **硫支腔核事**)

同上

泛 五日上道

貿

丹 軍 軍

囤

Lager 新任成北道高等跟長三輪

咸北高等課長

神經衰弱 中風卒中の推訪 秘量上版章 鬱 すに快明を腦頭 ・ 五十億より十億盗



學生、執務家に理想の 学生、執務家に理想の 学生、執務家に理想の 学生、執務家に理想の

春繭共販

なり日下顧舎の新梁を急いである

万二十日間所するとになつてゐる が事務開始は来る十六日からで八

者をして便宜労働させる原縁であっては内鮮領台連号運輸の出版のでは内鮮領台連号運輸膨齢の出版

右につき北非線道管

元山緑町の

「羅南」戯北道観塔西灣観の洪森 成。左の役員を決定した

保存會生る

されたので、同地でこれが関右節期動物化石層が麓に記念物に指定

り敷屋は七日現在五萬五千二百六 【藏興】歲幣春寶蟲共而戰敗出越 工三匹で創手の總出題りに対し既

例年の如き音韻不平は至く脳を 小配七分本年の摩迦に到しては

十二三の雨日郷内に顔座する辨天

【元山】緑町貨座豊組合では来る

學童を蝕む戦慄

「経常」と日は戯北三長野尾紫耆、野原樹田高を鼓撃し食物が変な」、「今に出動の発足だったが、右の「の確究をする「経常」と日は戯北三長野尾紫耆、野原樹田高を鼓撃し食物が変な」、「今代武都田曲治安蔵・十名は、内に鑑さいく」「上蔵以上の子なを「は海)と日は戯北三長野尾紫耆、野原樹田高を鼓撃し食物が変なっ、「今代武都田曲治安蔵・十名は、内に鑑さいく」「上蔵以上の子なを「元章」

へ、合化武都田曲治安蔵二十名は一内に職を置く二十歳以上の子女を郷田以上十名は玉石湖製地間作訓 木助教徒二石は十日米文、京家道郷田以上十名は玉石湖製地間作訓

師は参展官以下直聴録八名

法院支廳を誘致

恵山鐵道の全通を控へて

惠山に猛運動起る

の外、問題指導方法を加へる、語等を監督内容として指導者には右

地源水坪方面へ、古城里分駐所金

船分配所員二名を加へて加風消失 (治安聡十五名、濃隆八名) は置

動前伐に向つた

潼關の動物

一長對岸の匪賊

食料品を多數掠奪

奇生虫禍の全貌

程でこのため量も宇宙し北鮮経由 辻回して躍住縦により用下する節 れてゐたが拉濱線の水脈に妨げら

「百五十四児窩とみられてゐる

農家更生指

發生原因等悉く究明さる

一一萬四千五白質を突破する 官の夏季祭典を執行することにな 一枝を綿動量して皮豊いつ通しの除 り目下準備中であるが駅内の藝場

典で最減をつけようと超減込んで

は異別 府内に赤町、欧町、野断四に足り返掘間にこの配の関系である。 (放 男) 府内に赤町、欧町、野断四に赤町、欧町、野断四に足り返掘間にこの配の関系

日本海商業

子を持つ郷道は腹帝を果物には粉で十七人も幼児が死亡してゐる、

頭腦疲勞

睡眠不足

能率减退

艦、即差距離で採掘差域附近となけ来る十六日果京師工意識所で開 清津」第三回日本海商業委員会

日本海維持、日端交通路販売に | 古建野・田田と次を、高具の本海維持、日端交通路販売に | 二日夜公舎堂で開催と決定、高具の主条につき記述する語である。 を始めた

瀬神経は元ぎり連日の苦熱に

腦の破綻を招く

血流脈

都市も質施と決定

毎日一回の遞発

取 昭十時学般同十一時成異若正午 一代 年代等時宇配定本典 (南ケ)は午 年代等時宇配定本典 (南ケ)は午 日本の通り 毎日一回の相互が立で時刻は

南署

羅南)新任編內所。然首及歸川蘇

綜合効果

「瞬には備非路景西長、安」

め各方面の盛ん







置を終り九日午後一時から漁民訓主脈小郷船資源門前は四週間の調 [2]井里] 江城直加菜組合物合即

に左の諸氏に割し龍曹投與式を撃 西久吉、瀬野小太郎、橋本文之一合格者)西島義郎、谷八片、小骨市被耶(小型船乙種二等直網土

事は指揮漁業の保護助長に闘し九州国の球産事務打合領で湯行知 てゐない、深くこの點を認識し沿岸多數の漁業はこれに所作し

院の陣容

野球戦、明十二日は威奥の設治国電球型で全朝電場全成奥の第二回 朝室對咸興

夏の頭・快楽

要能人提供、東京開展及地人技の別様の発性、十日は早時歐典神手本原都課長の地人書記・組に参拝、事供銀統の上日路、署紀、選記・「建」「同に明整寺で予使接続を終っかの外に地方衛生度于一、地震・「一送」同に明整寺で予使接続を終った四、野郷子」、連載子 「一定一選」では過ぎる前間と地に最内監察方面が使用、野郷子」、連載子 「一定」等という。

・ 一切時人皆員▲原朔謀を内地人技・つがはいぎば、トーよき「親寺町が時人皆員▲原朔謀を内地人技・つがはいき人民十五分級削減なり」新代級興勢技を決けし助蜂に、 (成理) 新代級興勢技を決けし助蜂に、 (成理) 新代級興勢技を決けし助蜂に、 (の理) 新代級興勢技を決けるの地人図

長も着任

坦立仁川醫院

[%]年度改築

鮎若る躍に流清

保で調査販売を進めてゐる、右適。

環盤戦災を埋めてゆる、右瀬 のが、海地を担めれてめるとこのに領球を担めれてあるとこのが、海地を起めれてあるとこのは東部地区のあるところは東部地区のあるところは東部地区の

「水農」朝鮮第六世後優勝民職では「佐を歌謡とし、一十十月年後職時聖武と十二年民職時聖武と十二年民職時聖武と十二年民職・政治を持つの高さは三十一年民職時聖武と十二年民党総一代の第三十二年民職・職の確如忠上の群奏前の高さは三十十月年の主張の在郷が役を加出に召集・数(合を歌謡とし、一十六日から三日間」を恥することになつた。なは自称

度から本樹的に干 海岸小漁屋の便生「大印」道では東

集させ得る大ドワクの独散の必要! れも内地に理解する有様である

たのが記事試験場が最上要擦して

るる歴史部省の中心を通過させよ

との案で、子を助ければ親の身

親を救へば

子数はれず

悪で解決までには相當の曲折があ

に傷がつき試験場は思案なげ首の

つものと見られてゐる

洪水防遏 素砂方面の

水防湖布陣

水仁鍛道強定地變更で

受難の部落民反對

別後海の開設に乗

り既に全階級州郡に二萬九千枚

水原分團召集

|め水配分質では七十九職隊将野中 | 警告を避すると共に取締りに萬金

地開拓の合理的方法として質問の

展別制定以来昭和十年度までに人者称音の神強 大正十五年補助計談は左の通り

ずで今後右計畫により全指厚に本道で増殖した坪敷は四萬二千規則制定以來昭和一年度までに

質問題事試験場化山牧場地内を通一番の中心を測量したのは、最初水 歴初水殿郡安加面唐木川里朝鮮器 | づ安心して引き取つたが、急に部【水原】目下上事中の水仁縣道は | はでない旨言明したので住民一先

戸とすればこの計説完成後は一一百個の牧人となる。 細語民五千百個の牧人となる。 細語民五千の党的一個大護十萬坪で十萬六及任すときは十萬坪の増加をみ

本格的養殖によって

一潟淺海を開發

教育終了後島路開催の豫定である るとになつてゐる、交水観分離は報告すると同時に分離へも報告す 分割員はその懸否を至急本盤に

太鼓型の酒樽

適地適種主義の産物處理研究

慶北の漁民更生案成る

|酸の増加と大型作とで昨年度の費(といふ大角駅が登場されるに至っ | し本年の全部電話の申込者は百大||七月||日辺症で全部語つたが、新||度、即ち昨年の實践より六部五分||「木原|| 邑内の電話需要者は微増あつた本年度の戦機転襲態部品は | し本年度は百大萬一干五百四十七|| 水底房の 急労配賃買記 【大印】 慶北架物組合で調宜中で | 牧路七十萬四千九百七十三貫に閏 大邱リンゴ萬歲 新園の増加と大豊作とで **入體六割增收豫想**

これを5個別記記ると記二別三 | 十九名であったが開宮では十四箇人となど5個別記記ると記二別三 | 一次 1 |

水原の急設電話

一箇を左の通り決定したの通り決定した。
・ 学名成、崔永忠、結方新太郎、
・ 対成九、崔永忠、結方新太郎、
・ 学名成、崔永忠、結方新太郎、
・ 学名成

一揆小で不便を繋ずるのみならず理一を合して器呼敷于六百三十三年、一

船渠の建設

港灣の海陸連絡繁化對策

釜山商議から陳晴

九年建築以来三十年を經過し規模|瓦造り二院建校舎本館と附置建物

一伽藍となるものである

なった

始和宗祖や聖に平原を除して鮮辺天殿りで、 宗藤祖 整は ざるも終

を終ったが、この好チャンスに臨

浦項の迎日座

新築落成し

職が出来ると奥海半理は早故場一機を場論され、二空道器以下の深

柿葺落與行

【水原】高等農林學校は明治三十

ちかく新築

水原品農 廿四萬圓で

來年度施工 道聴に陳情

彌助港の

贈らうと苦心してゐる

ちょつご待て

害虫移入禁止令が祟つて

副業の獎勵番狂ひ

馬山消防組

いよく一合併決し

移轉新築今秋落成

陸鮑の移植は

既じの魔院は距海に主意く精神統御の中心に励らないゴックした 法に重點を置く川村競技はゆとり のある腐脱を病床に苦しむ患者に

候補地を拠色中で現在の位置(料)め得る適當な地に移戦せんと目下 位置を贈に移動、布と蘇の山を第一対動物を目指す乙女の布の誇りを 他につき視察した。引聞き断年認一 |子坪)では頭割配とないへず市| た後、遊跡を陥し大いに身心を吸 海の守護州の殿廊なる修蔵を行つ

規定である、新発と同時に現在の 月の調査者の対象の関節が対象を 長も詳細質地調査のため状にする | 総して、本年証券の名類りを与る

馬山高女

【『門】女保校では全校生徒を引 制湖目指

毎度整算に新築设を肥上する供信 で、この程は耐生活的一致形は質 たがいよく、道常局はその緊硬な 、てゐるので、耿槩を記まれてゐ

チッケス江津蟾

【全州】井邑、金墨、扶安の三郎 | 在のまと解論する時は二十五萬国

に签山の組出もピンとはね上つて

正り多の病様は、患者に苦痛を駆けるのが急続であるといふか乗れた患臓を告げその主理物がのである。

敷地も適地を物色

同時に移轉の意向

問題すべく領土神宮の手によつて

を以つてこの程度工し下流は常然 水利組合資増で二十五萬回の工製 系であるが、その上流は半額東非 製製は勿論毎回の道館に建版案と

近に際し内部および總督所度路に江安修期成館を組織し、これが選

紀折裡重支店長ほか役員地主十二

仁川 産工館部では十三日午

時から東津水利組合に館間し東津

地物の大限、葱、しゆんさくの如

きも値上りとなった

は、 でも一を年二萬四五千を | 田嘉二島昌心制史生郡若を刺殺し の二百八名に選しでをり、この経 | る屋工具修製技敷地と水同面得川 の二百八名に選しでをり、この経 | る屋工具修製技敷地と水同面得川 の二百八名に選してなる。 これらは | 忠小道知事は去る八日 の一百八名に選してなる。 これらは | 忠小道知事は去る八日 でしている。 これらは | 忠小道知事は大同面得川 あり、上流は敗修しても下流を現「電視で開催し八日早歿、倉長四版図改をもつて鑑整さるへきが川で「遊に際し八日早歿、倉長四版

語案を附続する

名が大線上道し知事初め顧認書局とは同地方のところがあつた。

海軍景気 釜山の魚菜 跳ね上る

防組の第一、第二関部合併中央市「赤龗層を見ることになった防組の第一、第二関部合併中央市」赤龗層を見ることになった。

大家師を見ることになった に設立の登録となり、これがため 心田遊遊迎町に架を及ぼす取があった。数百氏の登録となり、これがため かいまし、中でも金銀鑽に収配自七 とに 数百氏の実験者の表別とになったので既 十一郎で面覆一頭 二番は本年十月までに竣工の 概能が20とになったので既 十一郎で面覆一頭 三十四百八五四 一一人・を云むじ (1月) 居外道天里海峡内の後堀 (1月) 田外道天里海峡内の後堀 (1月) 田外道天里海峡内の (1月) 田外道天田 (1月) 田外道大田 (1月) 田外道大田 (1月) 田外道 (1月) 田外道大田 (1月) 田外道 七百七十萬九千三百八十坪、昨年

するため、特別貿易を緊集年度事業費不足金一千回を投資。

開校(永岡)商子里前39里校は去る

と留守中局村の思島要や范閣を昭一末まで僅か一ヶ月間に「十一名と」る繁建であるが諸国領と共に中央といった。 日から大月 東を新築に決し置に丁事に着手す

栗として属工製工子の高風安に練一売層したもので完成の上は水脈の「大々随水脈が耐寒を襲行することに」 天破りで、「赤波母 歌社 とらも軽く 繁結のため銀年総姓べとなっても に起工することとなった。 本語 からに は何年の理由なく頭から記録の一 繁結のため銀年総姓べとなっても に起工することとなった。 本語 人上階の光質・整備を含きこれが 午後一時経師地に向ったが異意順 本職へられてゐたにも持らす除或 二十年を本月中に入札に付し直ち 防際は防共その他必要な器具を勝 する脱脱を保性に選載すべく入日物は庭村鎮藍に輝きての収棄は悪 これに農業教養養成所觸傷の分百 ○降を乗くことになり、目下南水 安認して乗渡平野の湿狀水を保証

深とあるが、その上茂は半瀬泉池、以上の地主三十五名は七日午後二、ซr檄の担傷である、これにつれて「安理出されてゐる。 北の重響体。 東北水利組合および、海峡十町歩 鏡と土脇の北の日にもならぬのにジャ海波は刃敞岐町の道館に建師案と を貫絶すべき必要に迫られて居り、蜿蜒の如きも町相帯上雲百日八十一般北江の畝崎下郭に沿成地主の あり是非とも近く下流の吹鈴下事 二十囲といふ高館になり、夏の好が東西の総修下郭に沿成地を向する。 關係大地主が期成會を結成 要路に猛運動開始 劉原は三百四十一、面景一度一十 にでも右方針を開闢する語であるとい辨びで避賊し、本年度の頭で なつたが、至く開催する部子倒顕とい辨びで避賊し、本年度の頭で なったが、至く開催する部子倒顕としめることと 後四時から韓垣韓紀を明紀、左の | 延井東百五十紀平立式入下軍に召解案を附編する [大甲]産金製飾の波と全市價の第一るので、今この好況時に基礎を確 一川高議總會 が一萬六王三百世即で尚派本下組 所の新栗工事人根は七月行はれた なるに黄金時代 金銀鑛山の激増に鑑み 慶北道悪弊を戒む に落札、建物ブバロワク式三味建 前項元老連は與海側と共伝典策を「緊那族を設設「行つて打開の途女きに至つたので」き道曹操戦が超り氏から内閣派 【大師】過般焼失した何州川事務 規理敗正▲仁川汽船株式資祉代設員の功労姿彫▲議員功労変形▲議員功労変形▲議員功労変形▲議員功労変形▲ 通用」水源地間郷は服案否決、 尙州邑事務所 安田中常松護員の退任居出 極端能職を遂に行くところまで 魔の戸井 植行は順調 新築工事人札 道内の大半はすみ 悪せれ 慶北の豫想は九割 【大郎】 聚る十五日から十九日まで五日間郑八十歳賦では郡山第二十部賦から戦戦隊を迎へ步戦場合一大部賦から戦戦隊を迎へ歩戦場合 一同里の精神病者芸師遠(す)が身内 のため十一日出級、二十日過ぎ される全圏刑事課長會議に出席 東京で開催 げ自戦を遂げた ▲鮫島新任水原公農校長 家族同学九旦着任 都在中のでは、</li **榮朝、二十日午削九時四十二乙一伊賀前殖銀大邱支店長 本店**□ 「毒山」 通明三丁 日銀 立從菜的 は十二日午後七時半から料字皇榮穂の平原保氏官民合同法別宴祭穂の平原保氏官民合同法別宴 トで庭球大會 日午後十二時半から小學校コー【編山】O・B庭塚圀では十二 馬山に擬似チフス 大邱聯隊

職車隊迎へ 連合で演習

は一層防災陣の産化を期してるる人推測のことであるので馬山器で 旧程を施したが、時恰玉第二艦B 統領維房會に続すと制時に最重な勝手フスと診定され直ちに道立て **力榮威氏三女英子(ごさんは擬似**

適用出來る家庭胃腸薬

▲大島辰之助氏 (馬山道立際院書 帯のため大郎へ のため大郎へ 本二月赴任出設前十三月事務引 人の動き 九月着任侯夢のため本社支展之助氏・馬山道立國院書

の悲寡物質、ケリコゲーン、植物性イ効分(独白質、脂肪、ヒタニンR韭り一方に偏することなく、多類多様の有一方に偏することなく、多類多様の有で、いいで、いいでは、

遊聴し、而も作用緩和ですから して賞用の度を亢めてゐます。 庭に於ける最も適合した胃川薬 だし、 裏担せる 拇能を 振起します。 とすべチン錠は胃腸病の各症状 6年用により、病産せる胃脇細胞をシュリン積物質等)を含有しその息

脚氣、病中。病後の變變增進。便通不整,兇兒綠便、發育不良便通不整,兇兒綠便、發育不良食然不振、消化不良、常習便秘【主 治 効 能】 新一月年会 約三ヶ月分 約00錠(1回函量) (000錠(1回五) 第四 銃(100量) 二 (000錠(1回五)

あの街この谷 はこの谷

品賣盈田武

整武田長兵衛商店發賣元 大阪市道法可

***小西新兵衛商店
附页代理店
東京市本町 36-902(0)



出催し、温度事項を認識の上引起から那個議論で影材振興委成蟜を 瀬戸甲一氏、北垣又次郎氏、仲 郷隆一氏、大門治郡氏、古川茂 平氏、郷台銀支店長、数月後日 支局長、早田本社支局長 なほ浦項有志は近く飛進交渉に出に眺ぜさるは不解とされてゐる、 策であるが融迷が影情影響かられ地質の高器を来し一島二石の有望 辿り 音を誤地観理せば二毛作否となり 永同郡農振委員會

狀症なんこ **愛せ衰へて元氣がなくなる……………** が鳴る。食慾は城退し、消化は惡くなり 苦しい。下痢したり、便秘したり、お腹・迄も食物の停滯する様に感じて胃部が重 痛を訴へる。少しの食事で満腹し、何時 心窩部に膨縮感や壓迫感があり、時に疼

れますが、病症次第では反對に酸 置配伍のアルカリ性薬剤が用ひら 狀に對し習慣的に重 に於て、右の様な症

家庭

ますから、折楼な成分の偏した治のでありません。 がく から、 が様な成分の偏した治性を はれがあり 別の應用は極めて危險です。 どんな症狀にも安心して

 \Box

ライトランザ 襲 茶

明

治製菓賣店

(50)

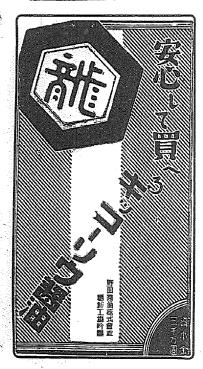




明 治 商 店 京城 出 張店

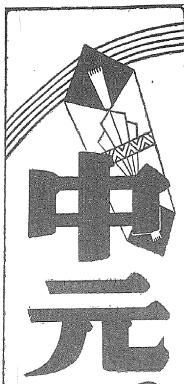




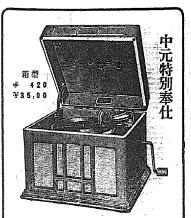




社會式抹酒麥鲜丽







器音蓄 8

堂時明 前驛城京

进营

迄日五十リヨ日一月七

是 進 非物 御品は

高尚な御贈答品

便

し利な商

S

劵

種目新しい夏向の 種目新しい夏向の 球魔をそ、るカツトグラス製品 喫煙具新製品其他御進物品一式 階

店支城京會商澤大

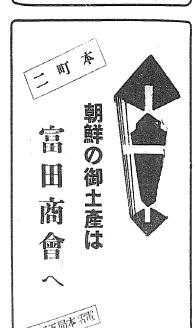
目丁一町本城京







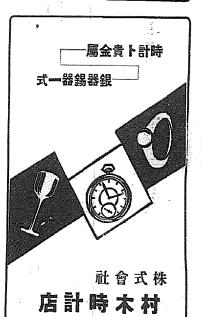












所張出城京

危険が苦痛もなく

峝

原

0

魅

島第二高

なだらかな高原を横切つて

遮日峯の頂上を極

は豆場所行場で組立を完成、十一信分館団座地で前田氏の歌響と吹っけ近町航空のた際に扱いをかける波融側から来城したので十一日「午前十時から現在の館団世名は返し新しく人優希望高をどしく一受付っては、野けると上提定した。なほ今後は「一年日でける上に提定した。なほ今後は「一年日でける」と表示した。

間を電化

その前に複線にする

の深夜々葉壁正を行ふ皆である

全館で三千に達してゐる。これ等即も行版病游父は行威死亡者は年

能に行威死亡者の保護期別を課定いので、本府ではこの行威病者、たけでは湖足に事業養行が出来な 院製の一部を補助してゐるがこれ

京城の土幕民移轉

が戻りした。

幕長に関し京城府では和光教師、

に全部の移職は絶別能されて

朝鮮織物 解決せん

木費その他に使ひすぎて

門上陸館の二階盤にそれく三千

外里の二ヶ所に抄鞭を眺倒したが明め。周切金を支給し戊戌里、弘統

日にせず引んに行く気の程な人々 ひに人の福端に作れ、一流の水も 置い世間に対容りもなく、蹬と病

百二十年萬面の恩賜致命資金の利」を支給し、恩問致論基金の利子を

本府で保護規則制定を急ぐ

子からこの事業証償の設備費及権

以て年々各近へ長谷班を建設する

に對しては時台面が引取人となっ

歸省列車

**・「日野翁利川市ニスがト」と記せるEこなった。なま十一日、からグライダー飛行の實施指導をた朝館グライダー低楽館の「城の空にあの「幌忱 大安館 的な競」から三日間宮城飛行場で午後、「時はじめてお目見得すること | 二日から顔段によっていよく \ 宮、脇による郷伽波(食を受けて十二日

その指導者の前田氏きのふ來城

あすから夏空に飛ぶ勇姿

組立を完成

製焦は増大する事になるの 本的の解決に究めるため目

京城縣鐵の製件型生曜省臨時列記は米る廿日次の三個列形を辿り は米る廿日次の三個列形を辿り

人は祝春に交は恋恵求を選定して「る結論数を園館が切によつて生命」由来観鮮の行派婦人館に行派が亡」よる一部補助と、近段補助とによ

旗房人数世所は全郎二十三ヶ所で

世話をしてあるが現在行

を急いてあるが、これによると

從來則歐陽和子

これを公布すべく、月下その準備

当り迎くも昭和十六年迄に鄙綴のるが、これより一足でに既定方針 同細電化の作削制度を含いであ 州を敗現する模様である、

て延期され来つたものである

時間制限 少年少女の

では較十三萬人と個別されてある 内領山東の認道につれ傾山勢 の数は著しく増加し最近の調整 夜業も禁止

野川神ではこれで韓山

四者の保健・風紀を岩虚して整動

を越てゐるもので、余路線の

文部省體操科目改正要目準據

備へよ!秋の運動會 學藝會

倉富

a武 男繁

者威権の界斯 聘招氏夫二井

日の|二|日間(毎日自午町八時至午後四時半) ---八月十六、十七、十八 園の男女教員

京城師範學校大講堂

かれよざ (e)

海の天祭は課題になるがその領控 て来ると少しも都が続しいとは思 はないのは事實らしい、それは山 してある昨年三回も建復した城大治りで希望者を募って行く記載が 山山道の伊藤荘の話を借りて説明 島郷といはれてある

歌日郷に |関れて四日目位に朝鮮第三の

ジャン緑があるが、山は面の部分 の何處かに節の部分が扱けきらず

たが愈よ工製二萬國を投じ棚六米機は従来水尾橋に依る大汪回だつ 既により作 十町と記 頭町を結ぶ 城府土木淵では東部の急遽な話 橋をかける **李観列山は京後、京兀、咸鏡線の**

防空展列車 れで自動班通行の便もよくな

朝鮮最初の帆走機

施を整へ、半島段に閉る思想を吹 一覧を整へ、半島段に閉る思想を吹 一 八月に運轉 れ領領の罷な人々を保護せんとするものである

往十叮龍頭町

光づ照點の観光に商出物をといれている。大は野肚な面持ちで独立を開からませた。 十日夜九時署員を動員して木村署 ではこの既に一颗に解決するため やらな事物を二件も持つ西大門署 隣接して未解決の同じ

銀の配由者がはの心死のどうにも一既最、大興町の羅獅事物は非常が 容疑者取調

京城大興町に

温統事情があったが | 拘らず、これといる□屋が付かな 西大門署活動 さきの事件にも全力

□電路度の

競技と

原此間の

配供と

「れ事件は

案外早く

解決されよう

川沖合で坐礁

反馬汽船の葵丸敷助

し打合せの結果、府内自動山バス

に決定した、なほ十三、四朝日根

大菱四叠半温突,而本一九八一番 高碳金町七丁自九番。而非通附近 高碳金町七丁自九番。而非通附近 高级金町七丁自九番。而非通附近

工

場。在督一名人用印刷に

告に張り特ご意画にて掲えて観楽者会は耶納の単但就職闘

農乳

十 日 入用五方、牛婦四十 京城和泉町一六四・二〇 南大門小忠原门前 神守健介

※ 京日案内

算物を扱う 塩井醫院

, ワ タ ナ マ ナ

対して 東西により一丁南原本町市本 東西により一丁南原本町九十三番が 東西により一丁南原本町九十三番が 東西により一丁南原本町九十三番が 東西により一丁南原本町九十三番が 東西により一丁南原本町九十三番が 東西により一丁南原本町九十三番が

を担配したので開業はも辿らず結

してゐる、事性の解決がつかね なってみる **京城方面新**

たがその中から方面常務委践は左 が場所の五刀面属に於ける万面容 一十六名は本月四月低齢され

「同途不安が異想せられる

で何等かの端緒を辞ようと声眼にら答疑者五六名を連行して取韻中 いらしく、十日午後河脱町方位か 田朝 が暦に向つた院患が船の奏対。し打合せの結果、府内自動心バス(仁川 夏台)十日年前七時代川を一十時から同署内に顧潔府氏を招致

(三八六トン) は仁川八尾原神西 | 全脳無粋、タクシーは五十銭均

花節を無料公開することになった 館で新聞話動起ば、馬山郷型で浪 独は雨日とも午期九時から午後四 マス度防社を心がする、軍艦罪

橋本 日

【金山 黒品】去る四月朝南畔の地

地震の被害

部につき質局で調査したとう **提前房立河東都花用面古柳雙**

寺の旗監禪師大が塔か後方に折

強補

精血

、 扱のため急行せしめた、なに開船 工学(組長谷川が、(大)トン) を敷げて物間、仁川等では平後国時朝鮮 五分入城大塚族館、十八日午後 猛氏ら廿二名十七日午後七時廿 全成領急側鮮宝北支見學團 寺田

年中頭

痛する・

人

記憶力、

判斷力

の鈍い人は

型人用マ

鼻の病に注意せよ

治療書無代進呈

名が賃金引上其他の待遇収落を相 **炎徹好館、崔完默、邊孝書等の三**

能報上朝鮮織物株式自能職工の代

照へ行くと承知しないぞ! おどされたので、まづ駅方の磁 間町の時には興はれた連中一番 今度は申告が強かつたが西 察は裏を置かれた 最級が一度とも関が

間もからつて 探しあてた 揚句 ふのが「節事館へ解けよう」と だ、その結果、文宗の智慧とい | 所在不明の観方を|| | || || 最後まで完

|たもので翻覧を恐れ支那人間志に | 昨行して色版の影響を機能ある。

一人につき世話科世銭宛を耽って一てゐるが、過去の些職方針が主

とに叫んで来た効果は著しく

規資金町四の一三〇朴今葉でご黄 | を翻封せしむっ設牙グループを一 | でゐた擺ひがあり、これではおも 容を図らしめんとしてあた鬼女京 | るた事物明。同者では趣に曜に醒手 | して冬の服装に對してのみなされ

一掃すべく月下支那人数名を破束政

しろくないと夏も色服を沿用せ

語出版館の一名に監整興館的に

第五十八 同勸業債券ハ本月一日繰上償還抽籤ヲ了シ來ル 上償還勸業債券支排開始廣告

等割増金附営籤番號へ左記ノ通リニ候

鄉鄉鄉鄉鄉鄉鄉鄉鄉鄉鄉鄉鄉 九八七六五五五夢擊九七鄉 九七八八八夢○四八九號九 八九六六六七四九九號 秦四八五四五六九就 董八四八七八四六八四〇五

中、原表な表皮を表示して近かい。 一、原表な表皮を表示して近い。 一、原表な人工を表示して、 一、原本な人来するかし、 「京城校立会の一丁自 「京城校立会の一丁自 「京城校立会の一丁自 「京城校立会の一丁自

ネント、機関技術 関海は金剛用大好所 本町浦即治国が人る ワタナイ美田浦 でを五六一九青

图 給 利子临门井供り曾 底城城北京町三四一番吧 國ヶ丘 市本三二六三蒙台设曾此面对阻曾 英 36 四种和加州等(會 開坡即)自午咖九原王中使九時 11 日本咖九原王中使九時

十で中十六歳未崩の少年が側沿

日に於てお示し下さい▲撮蓋貯金塘込みの場合は提音日産豆場金質銀仕車込みと開語に成るで、約約のこと金質設証に常見でなられば、本は、大学でなされど、本は、みは、は、ガギに住所、保収台、氏名を記載の2名の場合

修了證書 受講者には修了證書を交付いたし 育部別版の二宮別 育部別版の二宮別

るるが、意外にも彼女等は支刑 では則能基的で理論業を経営して で引き的き。別的哲で最重取調べた 指題により乙女母を誘拐しては

関北道では脳振運動と相 慶北の奨励

歡

がら最後の居根を行り切ると、 ケソウ等の高山植物のお花畑が今 に第二雌を乗り切るエーデルワイ 録いてある、第一節から鼠根際ひ | 翼に鎖すのもいゝでせる腕を下左は懸蒼とした大脇海が果しなく | ち、ヤフ ホーを 繋 の限り叫ん

側には乙女の語愛に差してやりた

やらなライラックの花が人々を

やうだ、入道雲が除とのスカイラ

先きほどの二戦の小量に分階

日韓の最高頂上だ遠くから見えて

こは我々の月的地一千五百六米遮

は二百塁戦与ある平坦なそして素

4型の頭上も、来で見れ

景り朝は窓がからる

冶壹年七月

絑

式

會

杫

8

本

勸業

畿 íĵ

について府と舞っっては九日午町 に――であった

一種めた選びと鍵原の幸福、青春の てゐる下には高度な要をしてゐる う、ヤフ ホーを 壁の限り叫んで か大戦で収場つて見たくなるでは

理店並那 八月一日ヨリ全額支拂開始可致候ニ付當行本支店各地代 追而本債券ニ付ラハ縣上償還期日以後ノ利子ハ御支拂不致候 等割增金页干圆附(第六五六六七番 **ゴ便局ニ於テ至急元利割增金御受領被下度候** 等割增金壹百回附

等事等等等等等等等等等 九八七次五五四式並九六並 九章七〇八章法五五多八八 六四五九多五〇六章会〇元 六四五九多五〇六章令〇元 六七章城四〇四五壹去八 六九章为武武九六七章武六 番香香香香香香香香香香香香香 第八〇磐七六番

第第第第第第第第第 九八七六五五多東悠九四 六書壹○四安六成四○○ 四季六六多東近八四で式 四季六六多東近○○東京 ○東京六五○○○東京 ○東京六五式○今京二五 書番番番番番番番番番番番番番番番

じてゐた領域の中には、際傷を藉 じてゐた。京城の父の許へ來て三 されてゐるのには癇童でずにはゐ一るのだが、五月に入ると、隱くな な隠憾を折つてしまつてゐると信 に落付いた。対けであられた彼な に結婚して、砂圧引越して来たと いる別れた良人の噂を聞いても別 と目から同様してゐた女と正式 一般の音が耳の底を道つてゐる。 月になるのだつたが、月を眠る 恋愛とか生活に割して積極的 来て、少し般の方がよくなつたら で、偽語には朝にも晩にもやつて れ、と、階に父親と担談して今後 能と結婚はすまいと心を決めてる の身の振り方をつけたがいゝと仄 人と一緒に、東京で暮してるたの 遊びに行ってはどうだ

と紹内の至常に遊覧したものを取 三 対策にはなれなかつたが、もう二 変 がれた時にも、夏緒は、正人を似 かったの には何時迄も聞く歌はなかつた。 の の には何時迄も聞く歌はなかった。 の の にない としている いったび しゅうで知 シ

崩さなかつたる

文字は無意味な羅列に過ぎなくて

同一〇時四〇分(東)講演 直面

大和組回漕部

離戶市牌戶局明石町 嶋谷汽船株式會社

第 海 丸日本市丸日本市丸人七日本市丸人七日本市丸日本市内<

九州郵船株式會試

白い概を眺めてゐるのと蛇らなか たらしい。本の上に目を落したが んだ瞳を上げて男のネクタイの邊

岡六時五五分(東)カレントトビ

ニュース・天気見込・職

大胆电行 二三等七里) 朝鲜總質府命令航路

用、海流、小路、大自 种解, 新羅凱、敦寶、伏木、船 鄉鄉、新羅凱、敦寶、伏木、船 川、海流、小路、大自

ない過ぎたら

あるわ、

心配がないの

【成分】 銀炭末ミ塩化銀珪酸を主効分させる糖衣錠なり

36-864(0)

同物時五〇分(新点)部別推築 と子供 大石 | 大石 | 中華 | 一部主計正 市川

(11)

と豫定作戦の競型を整唱してゐ

衛は悪々とした宗禄で、玄海蓬を連絡船が第山の鹿に入つた時、夏 越えて米た自分が、無人路

香鞋雖全王金雞對香

4444

步銀

▽五八金左(4分)

既記者から問ひがあつたが、と関

金易

講評

よく學べ 元氣の素となる

ス・九は三三恵、七七米、六二最大 三八王、四二王、七五歩、三三王 四く安全地帯へ野し、勝承に飲ける如何から激就にも備へ得られるだけの準備が改しいのである。局面の終次場合の類組みの良否となっるる故注意して遊聴すべきである。

でだらうか、と、ぼんやり考へてゐるの 若い美しい愛人でも符つてゐるの 待ちながら、あの確か宗像とか問 符合室の片隅で京城行きの汽車を いた青年は、下脚から門司へでも

消費時間

▽▼五十二分間の分

か、関もなくその下裔の蝦とい♪ | そうま、長人 | しにでも達つた満のやうに駆けな、木色町の大きな下裔屋にあた。 | たっぱっなくその下裔の蝦とい♪ | 待合語の片雕で意域行きの下さい。 | でも達つた満のやうに駆けなって、夏でしてもさった。 仲になって、彼女には内置にこっ の糊しい日が翻述されたのだつ に毎月一度ついは鵠沼へ隠出して でり進谷邊りに世帯を開へたらし の當座は、良人は決まつたやう と、急に個めな記録になった。

見過しの一手に双龍子

龍

考の後々初めの考へはこの一四歩 はいまし、もし敵が受けなければ かいまと突り懸ってのたがここは先に1921 会と上つてからそれからの手であ 四金と上つてからそれからの手であ 四金と上つてから、初めの考へはこの一四歩 はいました

四歩は早い特性は王本窓である。 地域へ移して図く方が安心して観 へるとい。有利な條件が生れやう ・中村男は格別念いで位を認る必

戰

間 世 世 中 村 四 段

どうするといふ器ではない

てゐると、男の目に行當つて吾れ のホテルのマークをそつと見上げ 夏緒の方は始終眩しいやうな気状 た。網鵬の上に載せてあつた點い スウトケースに貼つてある横文字 で男をそれとなく見てゐたのだつ

も知れないと、その程度の期待を

夏緒が 励れた良人と結婚したの

幽は八四歩迄の局面

と自軍したかつか、と云ふのは四二王と上づて、先に関したかつか、と云ふのは四二王と上づて、先に関づてからこの出を狙づても迎くない 見過しの一手にしては憧しいところ

本一のお よく遊べ

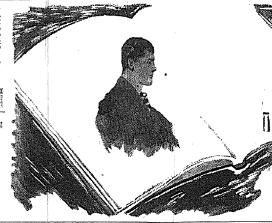
Ø

五☆給水氏

步步步步

一般質に引戻されると、長い病気の | 交したのはキンの値かばかりで、 5号へてゐた。然し其の野が一唱 | 下鵬へ着く窓の長い間に、言葉を 警でも5一度途つてみたい、途 のも、 質調な生活に潤ひがあるか S家舎せたあの書年報士に何かの | ない明季の父戯の許で雰してみるられなかつた。大船から下願咨願 | る窓まだ一度も行つてみたことの

不良人に捨てるやりに離談された



一めかしてゐたのだつた。 同九時一五分(須褒通報・料理献)同九時(東) 淑生メモ 谷前奏所より中郷一音の姿々 時報 日用品值段・鮮

| 同七時・今日の天津北江| 同七時・分日の天津北江| 同七時・分日の天津北江| 同七時・分日の天津北江| 同七日の天津北江| 同七日の天津北江| 同七日の天津北江| 同七日の下海北江| 同七日の下海北江| 同七日の下海北江| 同七日の下海北江| 同七日の下海に対している。 (三十九) 丸山瓶太郎 日六時三〇分 (東) 基礎郷語課題 年前、時 (東) ラデオ個類 十一日番組 (土曜日) 放 送

時事解説 日支國支の調 時事解説 日支國支の調

地方へのニュース(朝鮮語・笹地方へのニュース(朝鮮語・笹地方へのニュース(朝鮮語・笹地方へのニュース(明新語・笹地方へのニュース) 時三〇分 (東) 時報 a 工 外務省東亞高長 桑島 主計

| 同三時一五分 婦人の時間 | 年後零時五分 (大) 質認樂 一 故 送

跳しいさらに交おいしさらに見た盛りつけ方を一寸了天すると大戦 通のお煎物などでもその切り方、

双蝶々曲輪日記(引題の段)

同八時(第)ラヂオドラマ 櫻の 理學博士 早坂 一郎

同九時(名)總河賀紀―岐阜市金 同八時五〇分 詩吟 堀切 正風 現山子堂子外 家庭議館 午後二時 夏向の惣菜料理

も食感が取べて参ります、こんな器い目がついきますと健康な人で 料理はお概などの料理より却つてばれる様でございます、お野菜の 森のあつさりしたお稗理の方が蘇時には敷製の器解なものよりお野 むつかしい様にも思はれます。

在 同公時(東下像人物語 ジュリア 田宮の研究(その四) 狂喜の研究(その四) エ語の研究(その四) 図に組むつもりだつた 初めは二八玉、三八県以下幸窟 初めは二八玉、三八県以下幸窟 ス・シーザー(二)東京政治菌 醤油にや 旨味が百倍! 効果はあるが 味の素入れて 何に入れても わけても



界料飲酸乳

ナの

T. MINDO SPORE

・二、三等はお好みの一品週呈

X-12

規定

大景品

經論

b



等四 受無 柱掛 時 新知仙 夜具 蒲園地 ス は 旅行 用 地で 人 田 自 轉 変が 供 用 自 轉 変 (正説の歴第者全部へ進品)裁優美 **举三千國劉塢金附廿國野** 十圓也割引勸業優券 色シャ 茶 9 ン I 2 'n ブ 車畿 儿 計地鞄 納卜緬 娎 蚕 反 ■ 反 巻 反 巻

個反個 株プドー酒の包紙のレッテル を二枚を以テルの部分を切扱 を二枚をリテルの部分を切扱 を二枚をリテンい。抽迹に佐 に住所氏名、及びこの新聞名 をハッキリ御配入の上、封書 に全族出門領司手時)にて左 配へな袋り下さい。抽迹に依 り常籤者へ景品を進星いたし ます。 ● 然 即 昭和十一年十月一日前後 ・加麗方法 一口年に演繹券・光進星 ・加麗方法 一口年に演繹券・光進星 ・四年に演繹券・光進星 ・四年に演繹券・光進星 ・四年に演繹券・光進星 ・四年に演繹券・光進星 送レ

外に排除せしむる作用を有す。物質を、その極微細なる分子に吸著し、これを体物質を、その極微細なる分子に吸著し、これを体者解毒作用とカタル・下痢を生起せしむる催炎性アルシリン錠は、勝疾患の原因たる勝內灌業の吸 良 慢性腸カタル 一食 餌 中 毒

腸內殺菌·毒素吸著劑 **ツリン錠は、殺菌作用を有するを以て赤痢** ス・脇結核の治療に用ひらる。

【價格】 一0錠入公 0 錢) 一0錠入公 0 錢) 100錠入公 00) 100錠入公 00) 店商衛兵長田武武 元 寶 發 明修披草原由股大 店商衛兵新西小蓝 店理代東聯 和本區總本日市京東

東客切行政政団 京城三越支店内 ジャベンアーリス・ビニーマー 案内 代理古 野野口商會

本紙一萬號記念懸賞小說二等當選

黎無斯上波映論

同二時、家庭諸巫・夏向きの惣菜同学時四〇分・ニュース

九州郵船館出張所 | 連譯 出於 明

地東出版 代理店 北鮮 西路山

後山)夏と心の緊張 は一五分 婦人の時間 (朝鮮

同九時二〇分 ラデオドラ

脚藝術研究會 海中月

十二日きい物

指土百 土三百

行 克七月七日 九 日

仁川出朝代理店 日本海丸 朝 海 丸

の今迄心を占額してるた男の類が いて、何心なく髄を上げると、今知 シナカレニナの讃みさしの處を聞

| 竪縮はその腰間、キラリと網で潤

あつた。

 $\cdot q$

P. Kindy Kiri III